

企画展

いわきの雛の雛の吊し飾り

ひな

つる

かざ

塩屋呉服店の「おつるし物」

会期 18年12月8日(土) ~ 19年3月19日(火)

休館日 12/19(水) 1/1(火) 1/16(水) 2/20(水)



吊し飾り (山崎 珠代氏 所蔵)

○会期中のイベント ※小学生以下のお子様は保護者同伴でおいください

●講演会「雛の吊し飾りの民俗」

講師：学習院女子大学 非常勤講師 山崎祐子
日時：2019年2月9日(土) 14時~15時30分
会場：体験学習施設「吹風殿」(当館に隣接)
※無料、事前申込みは不要です。

●冬休みクラフト教室「押絵で作る干支の飾り」

日時：12月22日(土) 10:00~11:30
会場：体験学習施設「吹風殿」(当館に隣接)
※材料費1,000円(当日徴収) 定員20名 要電話予約

●展示説明 (要観覧券)

当館職員による展示説明を行います。
日時：12/9(日) 1/13(日) 2/10(日) 3/10(日)
14:00~14:30

●勿来関ひな祭句会

日時：2019年3月3日(日) 13時~16時
会場：体験学習施設「吹風殿」(当館に隣接)
※無料 事前申し込みが必要です。
詳しくは当館までお問い合わせください。



●観覧料は次の通りです。
※カックコ内は20名様以上の団体料金

一般	320円 (270円)
大高中	220円 (160円)
小学生	160円 (110円)

※無料になる場合
・市内に住所を有する65歳以上の方
・身障者手帳・療育手帳
・精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方
・市内の小・中・高・専修・高専生(土曜と日曜のみ)



開館時間 9:00~17:00 入館は16:30まで

なこそそのせき
いわき市勿来関文学歴史館

〒979-0146 福島県いわき市勿来町関田長沢6-1

☎ 0246-65-6166

☎ 0246-65-6167

いわきの雛の吊し飾り

いわきの雛の吊し飾りは、三月の節句の時に、雛壇のまわりや花瓶に柳の枝などを立て、そこにさまざまなものを吊し飾った風習です。山形県酒田市の傘福、静岡県東伊豆町稲取のつるし飾り、福岡県柳川市のさげもんなどが著名ですが、いわき市内でも特徴のある吊し飾りが、平地区・常磐地区・遠野地区・山田地区などで行われていました。

今回紹介する雛の吊し飾りは、いわき市平字紺屋町の塩屋呉服店（山崎家）に伝えられたもので、「お志系雛様 おつるし物」と呼ばれています。



雛の吊し飾り（山崎珠代氏所蔵）



押絵雛（山崎珠代氏所蔵）

いろいろな「おつるし物」

山崎家の「おつるし物」は九十七点あります。

押絵（七十七点）・紙細工（九点）・つまみ細工（二点）・袋物（十点）です。押絵は、台紙の厚

紙の上に布を貼り中に真綿を詰めたものです。

絵柄は、錦絵を手本としたもの（歴史人物・昔話）、縁起物（桃・這子・鶴・獅子舞など）、七

福神、時事物（日露戦争）などさまざまなものがあります。どれも手作りですとも丁寧になら

れています。このほか、お吊るし物ではありませんが、購入品と思われる押絵雛セット（内裏

雛・三人官女・五人囃子）があります。

吊し飾りを作った人々

塩屋呉服店は平町で、明治六年から大正十五年まで営業していました。初代の山崎定次郎が、味噌醤油醸造業の塩屋本家から分家し呉服店を始めました。山崎家の「おつるし物」には、絵の裏に、製作者名や製作年が書かれたものがあります。これらの人々は、山崎家の親族や従業員などと思われまます。年代は明治二十四年から大正四年のものがああります。山崎家の女兒の初節句の祝いに手作りしたものと考えられています。

（引用参考）山崎祐子編『雛の吊るし飾り』二〇〇六年 三弥井書店



塩屋呉服店 大正時代 初期（山崎 珠代氏 所蔵）